

入居者状況 総数 111名
従来型：男15名／女56名
ユニット型：男15名／女25名
平均年齢：87.12才



自在



お父さんありがとう！～父の日～
祝い膳・プレゼントに嬉しそうなお父さん方

法人の理念
共に生き、共に育つ
三世代の実現に取り組みます。

基本方針
1一人ひとりの人権と尊厳を守り、安心と笑顔の豊かな暮らしを支えます。
2すべての人たちに愛され信頼される法人を目指し、地域社会に貢献します。

令和四年度 特別養護老人ホーム自在園 事業報告

法人の経営理念に基づき、入居者の尊厳と自立支援を目指し地域と共に歩むことを目標に、入居者やご家族の意向に添い、その人の能力を十分発揮し、安心して日常生活が送れるよう①笑顔で一人ひとりの心に寄り添ったやさしい介護、②安全で安心の暮らしを支援、③ご家族や地域に愛され信頼される施設づくり、④職員との和を大切に互いに成長できる職場環境づくり等職員一丸となって取り組みました。新型コロナウイルス感染症対策も3年目を迎え、入居者・職員のコロナワクチン接種、感染状況に応じたPCR・抗原検査、面会室の新設やグループ健康管理アプリの導入等を行った結果、入居者への感染はありませんでした。その他、給食委託業者の変更、重度化に伴う介護機器の充実（電動低床ベッドや体圧分散用具の追加購入、ソファの新調等）、パソコン・プリンターの更新等、感染対策を最優先しながら介護保険サービスを安全かつ継続的に提供できるよう努めました。詳細は以下の通りです。

1 笑顔で一人ひとりの心に寄り添ったやさしい介護

(1) ケアプラン

サービス提供の基本となるケアプランでは、年間139名に305回のカンファレンスを開催、本人出席251回(83.1%)・ご家族出席7回(1.9%)でした。感染予防のためご家族へ事前に電話等でご意向を確認し、開催時には、ご本人の気持ちに寄り添い多職種が情報を共有しながら進めました。より質の高いケアを提供するため本年度より各専門ケア計画(栄養・機能訓練・褥瘡・排泄)を施設サービスクラスと一体的に取り組みと共に、入居日に暫定プランを作成し、当初からケアの統一を図り、濃密カンファレンスへ繋げました。バイタル表や食事・水分摂取表、口腔アセスメント等のデータも添付しました。退院時カンファレンスの出席では、治療経過や退院後の留意点等の指導内容を施設サービスクラスに活かして医療機関との連携を図りました。

(2) 介護

個人の生活習慣・価値観を大切にしつつ、各職種の専門性を活かし、食事・入浴・排泄・整容等、基本的な介護を中心に個々の心身機能に合わせた介助で自立支援に取り組みました。年間を通じて介護度が改善した方は4名、維持は27名、低下は12名となる等、概ね心身機能を維持することができました。各加算対象項目については、毎月LIFEにて厚生労働省へ報告後にフィードバックを受け、全国との状況と比較することができました。特に認知症高齢者が占める割合が施設全体の約70%みられるため、毎月の勉強会を開催すると共に、入居者やご家族の思いに寄り添えるよう、ユマニチュード「見る」「話す」「触れる」「立つ」を心がけ、プライバシーに配慮しながら安心・安全のケアに努めました。

(3) レク・行事

コロナ禍により外出や交流の制限を行いながらも、クラブや行事、ドライブ等、少しでも入居者が楽しめるよう工夫しながら行いました。文化祭では、オンラインで小学校との交流や、こども作品展では愛南町の協力を得て、本庁ロビーへ絵画展示、ケーブルテレビでの入選作品発表の放映等に取り組みました。各ユニットで、館内散歩や塗り絵・折り紙、ご家族への手紙等、コロナ収束後の楽しみに心を寄せながら日常を過ごしていただきました。7つのクラブ活動のうち、カラオケ・ミュージックケア・習字は各ユニットで開催し、俳句についてはメールで指導に添削していただき、毎月の機関誌に投稿することができました(年間11名・月平均2.6名)。ユニットレクでは、年間42名、月平均20.1名の参加がありました。小さな楽しみを見つけた時の喜びを共有しながらユニット単位での活動に力を注ぎ、ウィズコロナを実践しました。

(4) 健康管理及び保健衛生

医療面では、嘱託医や協力医療機関との連携を密にして症状変化の早期発見や早期対応等、健康管理に努めました。年一回の健康診断については業務委託をし、入居者・職員の負担軽減と業務の省力化を図りました。コロナワクチン(延べ人数・入居者221名・職員168名)、肺炎球菌ワクチン(13名)、インフルエンザの予防接種(入居者109名・職員93名)を行いました。褥瘡発症者は延べ6名でした。栄養や清潔面を徹底すると共に、離床時や臥床時には体圧分散用具の活用やポジショニングで除圧し褥瘡予防に努めました。入院治療では年間28名⁹⁴²日、主に脳神経系や泌尿器系の治療でした。

感染症では、新型コロナウイルス感染状況に合わせて、随時、面会制限や職員の自宅待機(44名・330日間)、健康観察や抗原検査、特に12月から3月までは全職員対象に週2回の頻回抗原検査(入居者190回・職員2,047回^{2,037}回)を行いました。感染リスクの高いユニットでのゾーニングと行動制限、感染者や濃厚接触者が出たことを想定したシミュレーションの実施、職員の外出・家族帰宅の届け出、換気や消毒の徹底等、感染対策を強化し全力で感染予防に取り組みました。

(5) 機能訓練

個別リハビリでは、理学療法士や言語聴覚士による適切なアセスメントに基づく個別機能訓練計画により、具体的な目標を設定、記録や時間帯の工夫等で、年間51,002回^{50,883}の実施ができました。

本人の持ちうる能力の活用・日常生活動作訓練の習慣化はもとより、各種体操、音楽・作業・言語療法等で意欲の向上と身体機能の維持回復に努めました。

(6) 看取りケア

嘱託医と連携を図りながら入居者やご家族の意向に沿い、最期まで穏やかに「その人らしさ」を尊重した看取りケアに各職種が共同で取り組みました。コロナ禍ではありましたが、ご家族との時間を大切に、可能な限りご家族に看取っていただけるよう環境づくりや支援に努めました。9名の方に113日の看取り介護を行い、ご家族よりいい終末が迎えられたと感謝の言葉をたくさんいただきました。

だき職員のモチベーションにも繋がりました。

(7) 栄養

栄養ケアマネジメントにより、嗜好や食習慣、嚥下・咀嚼機能や食事摂取量に合わせた食形態・栄養補助食品の提供、適切なシーティング、歯科医師による口腔ケア指導や歯科治療、嚥下外来への受診、感染対策のため実施できていなかったミールラウンドについてもリモートで行うことができ、経口摂取維持と誤嚥性肺炎の予防に努めました。

経管栄養者は9名(8.2%)、療養食の提供は5名(4.5%)でした。バイキングやご家族との食事は感染対策を優先し実施できませんでした。四季を感じられるメニューの工夫やお楽しみクッキング・竹そうめん・自在鍋・ホーム喫茶の行事食等で楽しく美味しい食事の提供に努めました。

2 安全で安心の暮らしを支援

(1) 身体拘束・高齢者虐待防止

介護事故予防、身体拘束・高齢者虐待防止委員会が毎月、不適切事例の検証や検討、基本的対応等についての研修で事故防止に努めると共に、権利や尊厳を守り親切丁寧な対応で安全で安心できる暮らしを支援しました。ひやり報告は298件、インシデント・事故報告は発生件数31件(うち受診件数20件)、車両事故・物品破損事故は9件、骨折等による町への報告は4件でした。昨年度と比較すると、ひやり報告は144件、インシデント・事故報告は18件(受診件数+6件)、町への報告は11件でした。センサーマットを追加購入し、ハード面での充実も図りました。

(2) 環境・防災・防犯

愛南町や愛南消防署の協力で毎年行っていた土砂災害や緊急時の応急処置、年2回の避難訓練はできず消火訓練のみとなりましたが、安否確認アプリの活用で災害時の迅速な連絡体制の強化を図りました。また、愛南警察署の協力のもと不審者対応訓練や交通安全教室を行い安全で安心、命を守る意識の高揚を図りました。南予老施協主催の災害時相互応援協定に基づく訓練では、他施設が被災した想定で、南予老施協の宇和島ブロックで各施設との伝達訓練を行いました。今後も各関係機関との連携を図り、防災対策の強化に努めていきます。

(3) 自治会活動

毎月の常会の開催はできませんでしたが、ソーシャルデイスタンスを取りながら園内ボランティアで入居者同士の親睦や融和を図り、仲間意識と生きがいづくりを支援しました。また、寿会経営による売店の日用品販売はご家族からも好評でした。

(4) 介護機器

今年度は、電動ベッドやセンサーマット、体圧分散用具や片開車椅子、移動用バーや車椅子用体重計等を購入し、安全で安心な介護の提供や職員の負担軽減を図りました。

3 ご家族や地域に愛され信頼される施設づくり

(1) 家族会との連携

感染状況に合わせた窓越し面会やオンライン面会、電話での連携を図りました。面会では年間延べ548名の入居者に970家族1,803名の来訪がありました。LINE面会では、年間延べ31名の入居者に38家族74名の利用がありました。面会制限によりご家族の行事参加はなく、12事業に対して家族会の協賛がありました。

(2) 関係機関との連携

入居後も自身の生活スタイルが継続できるように居宅介護支援事業所や愛南町地域包括支援センター、各介護サービス事業所と情報を共有、県立南宇和病院等とは退院時の情報提供やカンファレンスの出席、退院後のプランの提出や電話等で医療・福祉の連携を図りました。週に一回スーパーフジの移動販売の利用で入居者の楽しみが増えました。

(3) 入所検討委員会

愛南町他各事業所との連携を密にして地域のニーズの把握に努めました。年4回の入所検討委員会では入所基準の明確化・入所過程の透明化・公平性の確保で円滑に施設入所ができるよう努めた結果、3月末の待機者は従来型137名・ユニット型45名(重複申請者40名)でした。

新入居者は年間29名で、自宅からが13名で一番多く、続いて病院・グループホーム等が各5名、ショートステイからが4名、平均介護度は4.24でした。うち、町より措置入所の依頼があり2名を受け入れました。

退所者は年間29名で、死亡退所は26名(施設25名・病院1名)で、死因では老衰23名、悪性新生物1名、心疾患1名、呼吸器系1名でした。一般退所は、入院治療の継続が必要な2名、家庭復帰が1名でした。

(4) 相談・苦情

相談苦情では、今年度も特設人権相談所の開設、愛南町の介護相談員派遣事業等の実施はできませんでしたが、年2回の第三者委員会は開催することができました。説明・情報提供による苦情が1件あり、今後も親切丁寧な対応と専門職としての意識の向上に努めていきます。

(5) ボランティア・研修・実習

感染対策を最優先に取り組んだため、各行事協力やクラブ指導、奉仕活動等、従来行っていた交流はできませんでしたが、日赤奉仕団よりアレンジフラワー等の寄贈、菊川公民館により玄関前に花を植えていただく等、環境美化を通じて交流が図れました。実習については、河原学園より1名の実習生の受け入れをしました。

(6) 社会貢献活動

町内4法人共同での福祉教育推進の取り組みはできませんでしたが、地域交流文化祭では平城小学校とのリモート交流で福祉教育に取り組みました。

成年後見活動の受任件数は、今年度に1件受任し、1件終了した結果、現在

は3件受任中です。

(7) 広報活動

毎月発行の機関誌自在(310部)やホームページで、ご家族や地域の皆様に施設での暮らしを伝えることで理解や協力が得られるよう努めました。

4 職員の和を大切に互いに成長できる職場環境への取り組み

(1) 働き方改革

働き方改革委員会が中心となり就労意識アンケートや個別面談等による意見要望をもとに職場環境の改善を図り、働き方改革セミナーとして、特定社会保険労務士を講師に招き、職場のハラスメント対策の研修も行いました。希望休暇の受け入れ(年休の取得率は87.8%)では、昨年と比べ8.2%増加しました。コロナ対策で自宅待機となったことも要因と考えられます。また、介護助手等諸制度の活用等、働きやすい職場環境づくりとモチベーションの向上に努めました。労働安全衛生法に基づくストレスチェックを行い、メンタル・健康管理、両面でのサポートにも努めました。今後も一般事業主行動計画の実践へ向け、職場環境の更なる改善に取り組みたいと考えます。

(2) 職員教育・人材育成

委員会活動や毎月の職員研修会等は主に文書回覧(延べ173回1608名)各種会議、県内外の研修は(129回206名)感染予防のため主にリモートでの参加となり、その他、文書回覧やeラーニングで参加しチームケアや介護技術の向上、専門知識の習得に努めました。介護職員による喀痰吸引等の有資格者は35名(68.6%)となりました。毎週の新型コロナウイルス情報交換会は、主に看護職員が参加し(20回・32名)、情報収集に努めました。

臨時職員の正規職員登用試験は、介護職員4名、看護職員1名が合格しました。

年末から流行した感染力が強い第6波など、今年度もコロナ対策の一年でしたが、入居者と職員が一体となり感染防止に取り組んだ結果、創意工夫の中から多くを学び、その団結力や決断力は他のケアに活かしていると感じています。高齢者は重症化リスクが高いため、引き続き感染対策を行いつつながら、ご家族や地域の方々と長年築き上げてきたよりよい関係性が失われることなく信頼される施設であり続けられるよう努力していきたいと思っております。その他、介護DX化に向けたICT活用による業務の効率化や職員の負担軽減を図るとともに、物価高騰に伴うコスト削減や環境に配慮した取り組みも行っています。

今後もコロナ対策と並行し、厚生労働省が取り組んでいる科学的介護情報システムを活用したPDCAサイクルによるケアの質の向上が求められ、より専門的な取り組みが求められます。各委員会が中心となり専門性を高めながら円滑な施設運営に向け職員一丸となって取り組んでいきます。



共に生き、共に育つ
Live and grow together

NEWS

----- お知らせ -----

2023-06-30 令和4年度 現況報告書・事業報告書・計算書類 を公表しました。 NEW

法人単位貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

資産の部		負債の部		(単位:円)			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	416,288,917	406,365,923	8,924,394	流動負債	95,246,114	94,555,026	691,688
現金預金	289,428,534	276,544,707	3,884,127	短期運営資金借入金	24,397,284	24,483,088	△85,814
有価証券	132,105,658	126,226,808	5,879,848	その他の未払金	35,160,000	35,160,000	0
事業未収金	1,724,361	2,582,942	△859,581	支払手形	1,174,704	1,174,704	0
未収補助金				役員等短期借入金	2,200	1,540	660
未収収益				1年以内返済予定設備資金借入金	6,699,526	6,385,684	313,842
貯蔵品				1年以内返済予定短期運営資金借入金	27,813,000	27,350,000	463,000
医薬品				1年以内返済予定リース債務			
診療・療養費等材料				1年以内返済予定長期未払金			
給食用材料				未払費用			
商品・製品				預り金			
仕掛品				職員預り金			
原材料				前受金			
立替金				前受収益			
前払金				仮受金			
前払費用	1,008,666	1,008,666	0	費与引当金			
1年以内回収予定長期貸付金				その他の流動負債			
短期貸付金							
仮払金							
その他の流動資産							
徴収不能引当金							
固定資産	1,798,085,065	1,846,317,140	△48,232,055	固定負債	309,256,194	341,990,560	△32,734,366
基本財産	1,212,956,008	1,270,752,516	△58,796,507	設備資金借入金	290,150,000	295,310,000	△53,160,000
土地	287,741,988	287,741,488	500	長期運営資金借入金	2,199,392	3,374,066	△1,174,704
建物	949,214,521	1,002,011,029	△52,796,507	役員等長期借入金	46,906,802	43,306,464	3,600,338
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	退職給付引当金			
基本財産特定預金				長期未払金			
投資有価証券				長期預り金			
その他の固定資産	880,129,016	575,564,624	4,564,462	その他の固定負債			
土地	2,794,953	2,794,953	0	負債の部合計	404,502,808	436,545,586	△32,042,678
建物	18,409,178	22,199,626	△3,790,448				
構築物	39,599,807	45,175,166	△5,585,359	純資産の部	356,830,500	356,830,500	0
機械及び装置	4,107,544	5,849,040	△1,741,496	基本金	356,830,500	356,830,500	0
車輦運搬具	6	6	0	第一号基本金			
器具及び備品	37,770,652	38,707,231	△936,579	第二号基本金			
建設仮勘定	2,585,658	3,536,446	△950,788	第三号基本金			
有形リース資産	250,000	323,450	△73,450	国庫補助金等特別積立金	99,786,089	102,397,971	△2,611,882
権利				その他の積立金	426,293,120	411,823,120	14,470,000
ソフトウェア				その他の積立金	411,823,120	411,823,120	0
無形リース資産				次期繰越活動増減差額	925,940,785	945,382,866	△19,443,101
投資有価証券				(うち当期活動増減差額)	△4,773,101	17,462,984	△22,236,085
長期貸付金	46,906,802	43,306,464	3,600,338				
退職給付引当資産							
長期預り金積立資産	426,293,120	411,823,120	14,470,000				
その他の積立資産							
長期前払費用	840,556	1,849,222	△1,008,666	純資産の部合計	1,808,650,644	1,816,105,477	△7,454,833
その他の固定資産				負債及び純資産の部合計	2,213,353,402	2,252,681,063	△39,327,661
資産の部合計	2,213,353,402	2,252,681,063	△39,327,661				

法人単位資金収支計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業収入	732,380,000	730,867,295	1,512,705	
介護保険事業収入	99,980,000	100,884,745	△904,745	
太陽光発電事業収入	3,900,000	3,669,160	230,840	
障害福祉サービス等事業収入	19,140,000	19,141,482	△1,482	
成年後見等受任事業収入	240,000	439,000	△199,000	
経常経費寄附金収入	630,000	668,300	△38,300	
受取利息配当金収入	110,000	11,071	98,929	
その他の収入	2,810,000	2,975,950	△165,950	
事業活動収入計(1)	859,190,000	858,657,003	532,997	
支弁件費支出	604,070,000	600,323,657	3,746,343	
事業費支出	130,374,000	124,588,837	5,785,163	
事務費支出	57,776,000	54,559,568	3,216,432	
利用者負担軽減額	5,000,000	4,472,123	527,877	
支払利息支出	2,670,000	2,395,503	274,497	
その他の支出	1,750,000	1,712,410	37,590	
事業活動支出計(2)	801,640,000	788,052,098	13,587,902	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	57,550,000	70,604,905	△13,054,905	
施設整備等補助金収入	3,500,000	3,500,000		
施設整備等収入計(4)	3,500,000	3,500,000		
支借入金元金償還支出	35,250,000	35,160,000	90,000	
固定資産取得支出	10,700,000	10,283,790	416,210	
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,190,000	1,174,704	15,296	
施設整備等支出計(5)	47,140,000	46,618,494	521,506	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△43,640,000	△43,118,494	△521,506	
種立資産取得収入	770,000	749,176	20,824	
その他の活動収入計(7)	770,000	749,176	20,824	
種立資産支出	19,680,000	19,559,881	120,119	
その他の活動支出計(8)	19,680,000	19,559,881	120,119	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△18,910,000	△18,810,705	△99,295	
予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△5,000,000	8,675,706	△13,675,706	
前期未支払資金残高(12)	374,479,000	374,484,935	△5,935	
当期未支払資金残高(11)+(12)	369,479,000	383,160,641	△13,681,641	

(単位:円)

法人単位事業活動計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
取介護保険事業収入	730,867,295	732,401,251	△1,533,956	
取太陽光発電事業収入	100,884,745	104,747,180	△3,862,435	
取障害福祉サービス等事業収入	3,669,160	4,448,180	△779,020	
取成年後見等受任事業収入	19,141,482	18,000,000	1,141,482	
取経常経費寄附金収入	439,000	389,000	50,000	
取経常経費寄附金収入	668,300	564,800	103,500	
取経常経費寄附金収入計(1)	855,669,982	860,550,411	△4,880,429	
費用件費	604,927,362	594,978,655	9,948,707	
費用事業費	125,597,503	119,281,267	6,316,236	
費用事務費	54,559,568	56,445,227	△1,885,659	
費用利用者負担軽減額	4,472,123	5,176,429	△704,306	
費用減価償却費	75,777,494	75,482,418	295,076	
費用国庫補助金等特別積立金取崩額	△6,011,882	△6,012,919	1,037	
費用事業活動費用計(2)	859,322,168	845,351,071	13,971,091	
費用事業活動増減差額(3)=(1)-(2)	△3,652,186	15,199,334	△18,851,520	
取受取利息配当金収入	11,071	17,311	△6,240	
取その他のサービス活動外収入	2,975,950	6,225,856	△3,249,906	
サービス活動外収入計(4)	2,987,021	6,243,167	△3,256,146	
費用支払利息	2,395,503	2,609,323	△213,820	
費用その他のサービス活動外費用	1,712,410	1,760,194	△47,784	
費用サービス活動外費用計(5)	4,107,913	4,369,517	△261,604	
費用サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	△1,120,892	1,873,650	△2,994,542	
費用繰上増減差額(7)=(3)+(6)	△4,773,078	17,072,984	△21,846,062	
取施設整備等補助金収入	3,500,000		3,500,000	
取施設整備等補助金収入計(8)	3,500,000		3,500,000	
費用固定資産売却損・処分損	23	1	22	
費用国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	3,500,000	△1	3,500,000	
費用国庫補助金等特別積立金積立額	3,500,023	3,500,023		
費用特別費用計(9)	△23	390,000	△390,023	
費用特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4,773,101	17,462,984	△22,236,085	
費用当期増減差額(11)=(7)+(10)	945,383,886	949,750,902	△4,367,016	
費用前期繰越活動増減差額(12)	940,610,785	967,213,886	△26,603,101	
費用当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	14,670,000	21,830,000	△7,160,000	
費用基本金取崩額(14)				
費用その他の積立金取崩額(15)				
費用その他の積立金積立額(16)				
費用繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	925,940,785	945,383,886	△19,443,101	

(単位:円)

父の日によせて

「父の日」

風の家 原田様

私の父は、郵便局で働いていました。あつさりした人でしたが、優しかったのを覚えています。いつもは郵便局の仕事で朝から晩までは働いていましたが、時々父と一緒に畑仕事をしたことはいい思い出です。私が五十六歳の頃に父は亡くなりましたが、家族のために働いてくれて感謝しています。

「私の父」

杜の家 澤近様

私は父の怒った所を見た事がなく、優しくて穏やかな人でした。

父は馬瀬のお百姓で、芋やキュウリ等の季節の野菜を作ったり、田んぼをしたりしていました。

田んぼが忙しい時は家族皆で手伝わなければならず、大変な時もありましたが、休みの日には家族でお大師様に連れて行ってくれました。また、夏休みになると、家から海が近かったので、家族で海に泳ぎに行ったことがとても良い思い出です。

父は朝早くに起き、夜遅くまで働く仕事熱心な人で、物が少なく大変な時代でしたが、何不自由なく元気に育ててくれたことに、とても感謝しています。

私も父のように優しくて穏やかに過ごしながら、

こちらでのお手伝いを頑張り、いつまでも元気に過ごしていきたいです。

「父の日」

介護職員 猪野

お米作りや花枝の出荷、庭木の剪定、山仕事の経験を活かし切りにくい木を切って欲しいと依頼があれば切ったりと、私より元気な父も七十歳になりました。

コロナの三年間は私の兄妹家族と父の日と誕生日のお祝いを兼ねて集まる事が出来なかったもので、今年は久しぶりにみんなで賑やかに過ごしたいです。

これからも健康に気を付けて元気でいてください。

相談・苦情の受付

6月

苦情の申し出はありませんでした。

【七月】

ご芳志いただいた方々

宇都宮好一
中川正子
宮岡悟
中尾ワキ子
上田満里子
愛南警察署
東洋羽毛中四国販売(株)
山西百合子

(敬省略)



ホットニュース

その1 大人も手を上げよう！



悲惨な交通事故を防止するため、手上げ横断モデル事業所として、「大人も手を上げよう運動」を実践します！
期間は令和5年7月1日～令和6年3月31日までです。

その2 土砂災害避難訓練！

土砂災害警戒区域に指定されているため訓練を実施しています！



その3 季節の果物に舌鼓♪

宮岡様より、「いっくり」「やまもも」が届きました。いつもありがとうございます！



その4 車椅子寄贈！

東洋羽毛中四国販売(株)より、車椅子を寄贈していただきました！大切に使用させていただきます！



キヤッチ愛！

*このコーナーでは、入居者の皆さんの日常生活の一コマを紹介します。



アタック！
ビーチボール
バレー！



スイカに
かぶりつき！



ご家族より
お花♪



父の日に
プレゼント♪



作品づくりに
集中！



花や野菜で
畑がいっぱい



願いを込めて
笹飾り



紫陽花を見に
ドライブ



魚釣りゲーム



毎月1日は
参拝日です



しゃぼん玉
がキレイ♪



自在の窓

〈俳句クラブ〉

〈優秀句〉

父の日や一年分のティッシュ来る

特養

環

母の日の華やかさは違った父の日。プレゼントは一年分のティッシュなのです。大事にされている実感と何とも言えないおかしみがあり、「父の日」らしさがうかがえます。

父の日やロールケーキにかぶりつく

直人

こちらは父の日のプレゼントはロールケーキだったので。かぶりつく直人さんの嬉しさが伝わります。二句とも基本の俳句の型を使われています。

夏服やマスク外して挨拶を

デイサービスセンター自在

カツコ

涼し気な夏服。やっとマスクを外して挨拶することもできるようになりました。

〈俳句〉

気まぐれに使った五文字合歓の花

一三三

特養

学校で学びしことや百日紅

一一三

子等みなに会いたいと書く七夕よ

松恵

裏庭の野菜も一息梅雨晴間

松恵

紫陽花の青きにふれる寂しくて

エミ子

夏燕餌をもとめて軒下に

エミ子

流れ星ひとときわ光る夜空かな

エミ子

初なりの野菜をとりて夏料理

デイサービスセンター自在

カツコ

父母の家が恋しい夏の夕

大和

群青の浴衣に映える小麦肌

泰子

グループホームみじょうの里

懐かしき線香匂う夜の秋

文子

夕立を待ちわびている庭の花

好美

水面に浮かぶ宝石睡蓮花

敏美

左から右から蟬の声響く

サヨ子

雲の峰友と見上げる散歩道

得恵

夕食は柚子のほのかに冷奴

明子

短夜の波音ひびく窓の下

ヒマ子

黒きリボンの広き縁取り夏帽子

フミヲ

縁側やお風呂上がりの夕涼み

フミヲ

神頼み入道雲に雨を乞う

叶

さんきらのらの葉にくるむ柏餅

龍馬

青梅をもぐ手軽やか木にすがり

サカエ

蝸牛大きな葉っぱ齧りをり

三郎

墓石の雨に打たれる雨蛙

三郎

指導 上田満里子

〈川柳〉

自在園感謝感謝の日が暮れる

デイサービスセンター自在

大和

古き友にも会え嬉し自在園

大和

7月誕生者

花の家



伯耆様 本田様 浅海様

杜・空の家



岩崎様 宮川様

虹・月の家



吉田様 池田様

- ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
 七月の行事予定
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
- 1日(土)参拝日
介護支援専門員更新研修 (7月2日)
 - 7日(金)誕生会・七夕の集い
コロナ情報交換会
 - 8日(土)介護支援専門員更新研修(9日)
 - 10日(月)職員研修会
 - 11日(火)第18回愛媛県老人福祉施設大会
 - 12日(水)みじょうの里実地指導
 - 13日(木)ケアサービス会議(個室・多床室)
南予企業人材確保事業説明会(zoom)
 - 14日(金)特殊建築物定期調査
コロナ情報交換会
 - 15日(土)介護支援専門員更新研修(16日)
 - 17日(月)夏休みボランティア
オリエンテーション
 - 18日(火)竹そうめん(20日)
 - 19日(水)口腔ケア指導
 - 21日(金)コロナ情報交換会
愛南町嚙下プロジェクト会議
 - 25日(火)デイサービスセンター職員研修会
 - 26日(水)管理者会議 給食委員会
入所検討委員会 衛生委員会
 - 27日(木)いよぎんホールディングス
決算説明会&特別講演会
 - 28日(金)コロナ情報交換会
 - 29日(土)介護支援専門員更新研修(30日)

6/18 父の日・誕生会



6月のアルバム

おたんじょうび おめでとう

長岡 秀雄様 (三十一日)	大西 昭様 (十八日)	末廣 綾美様 (十八日)	若本 幸子様 (九日)	清水 ヨシエ様 (八日)	石黒 定志様 (四日)	原 カズミ様 (一日)
------------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------	----------------



今月の行事



いよいよ夏本番を迎えました。デイサービス利用中には、定時に水分補給を行い、脱水予防に努め、室温管理を行い、ご利用者様方に快適に過ごして頂けるよう努めてまいります。適度に身体を動かし、美味しい食事を食べて、夏の暑さに負けないよう過ごしていきたいと思えます。



自在だより

デイサービスセンター



くま日この夏
が調めに続本
体管に水い季
ま、理分て節の
い今月に分い。暑
す。た月給ま蒸さ
。だも気補すしが
き楽を給すし近
たし付をすしこ
いくけ行。暑
と過ないこいづ

7月の予定

- * 七夕
- * 実地指導
- * 運営推進会議




孫から
誕生日プレゼント
届いたよ



兄夫婦から
びわを
もらいました



このお菓子
おいしいな



おやつ
の時間は
いいですね



**相談・苦情の受付
6月**

職員の伝達不足により、外出後の感染対策が不十分になっていました。また面会時の対応についての申し出がありました。職員間の情報共有・伝達の徹底に努めます。

みんな
で
作ると
早いなあ



七夕の
笹飾りを
作ったよ



◇◇◇ 思索の丘 ◇◇◇

高校卒業後、自在園に就職させていただき2年目になりました。中学生の時から介護職に就きたいと思っていましたが資格も持っていないため少し心配でした。しかし何もわからない私に移乗の仕事や、利用者さんへの声のかけ方など丁寧に教えてくださいました。やり方だけでなくひとつひとつなぜこれは良くない事なのか理由も一緒になって考えてくださりとても勉強になりました。

私には88歳の祖父と85歳の祖母がいます。少しでも元気に長生きしてもらいたいため、自在園で学んだことを生かしながら休みの日には、一緒に体操をしたり、祖母の好きな美空ひばりの歌を歌いながら散歩をしたりしています。初めは散歩に乗り気でない様子でしたが行ってみると「お花が綺麗だね。」と楽しそうに笑う祖母を見ると私も嬉しくなりました。

一緒に歩けること、今日あった事を話して笑い合えること、この時間を大切にしていきたいと思いました。

これからもたくさんのお話を学び利用者さんの気持ちに寄り添える介護士になりたいと思います。

ケアワーカー 和田琴美

お た よ り

(担当 より)

新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行されましたが、当面の間、当施設におきましては、従来どおりの対応を継続致しますが、少しずつ以前の日常生活に近い状況に戻していけるよう段階的な緩和を検討しております。引き続き、ご家族の皆様には、不自由をおかけ致しますが、職員も全力で感染予防に取り組んでおりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【今月のことば】

日々のちよつとした災難を笑い飛ばすことにこそ、強い心が必要なのだ。

(ジーン・ウエヴスター ―女性の格言より―)



南宇和郡愛南町満倉二三〇一番地一
社会福祉法人御荘福祉施設協会
電話 〇八九五七二一三二一
FAX 〇八九五七二一三二一五
特別養護老人ホーム自在園
デイサービスセンター自在園
居宅介護支援事業所自在園
グループホームみしよの里
発行責任者 施設長 濱香代美